

令和 6 年度 6 年全国学力・学習状況調査について

〈国語科〉

「B 書くこと」に関して本年度は大きく改善傾向が見られた。

しかしながら普段の学校の授業やテストにおいても、記述の内容になると無記入で出したり、文章の読み込みができずに的外れの解答を書いたりしている状況が見られた。文章を書く、読書をするなどの基本的なことすらできていない状況もある。特に文章を書くことに関しては、句読点が打てない、「てにをは」といった助詞が適切に書けないなど低学年で指導されている内容の定着ができていない児童も多くいる。

これらの点を踏まえながら、今後も指導を継続していきたい。

〈算数科〉

全体を通して全国、県平均を下回っている。

「B 図形」及び「D データの活用」では、記述ができていない、文章の読解ができていない児童も多く、何を問われているかを考えずに何となく立式をしている状況が見られた。なぜその式になるのか、その答えの意味は何かといったことを理解していない。

普段の学校のテストでも、特に思考力・判断力・表現力等の力が乏しい場合がある。計算能力にも課題は見られるが、それ以上に文章の読解力、思考力という点で大きな課題が見られ、今後も指導していきたい。

〈質問紙について（意識調査）〉

大半の児童が登校意欲、学習への参加意欲が高く、日頃の学習の大切さを理解している。自己肯定感も高めで、将来の夢や希望に向けて前向きに生活している傾向が見られる。

また困っている人を助けたい、いじめは許さない、友達や周囲の人の役に立ちたいという考えも育ってきている。

地域行事に積極的に参加したいという児童の割合も高い傾向にあり、今後も道徳科も含めた日頃の学習や指導を通して、思いやりのある豊かな心を育てていきたい。